人権擁護に努めた在野の弁護士

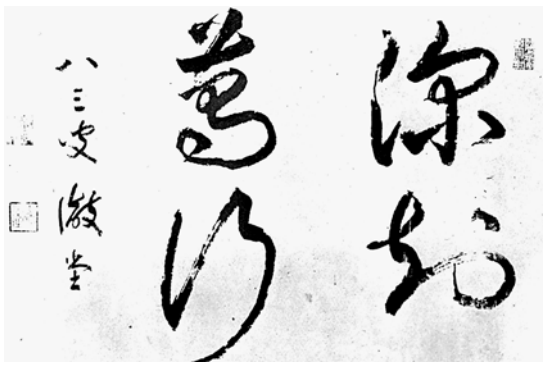
戦後復興期の総長

今村力三郎

▲ 法服を着た晩年の今村

戦後復興期に総長を務めた今村力三郎は、人権擁護に尽くす在野の弁護士としても活躍した。今村の足跡を振り返ってみよう。

私財投げ打って専大再建に奔走



▲ 今村の人生観が表れる晩年の書「深知篤行」

今村の活動分野は、民事、刑事双方の多岐にわたり、とりわけその名を世に知らしめたのは旧憲法下、政治に絡む刑事事件だった。

明治天皇暗殺を計画したとして、政府が幸徳秋水ら26人を検挙、全国の社会主義者・無政府主義者らを徹底弾圧したときれる「大逆事件」。来年、事件の発端から100年を迎える。

今村は、日本の公害の原点といわれる「足尾鉱毒事件」の弁護により、田中正造を介して幸徳秋水と知り合い、「大逆事件」の弁護を引き受けることになったのだ。

1923（大正12）年には、帝国議会の開院式に臨む途中の摂政宮（後の昭和天皇）を難波大助が狙撃した「虎ノ門事件」が発生した。今村はこの二つの大逆罪（※）の官選弁護人として活躍した。

ほかに「五・一五事件」（1932＝昭和7年）、「神兵隊事件」（1933年）＝いずれも国家改造運動関係者のテロ事件、「帝人事件」（1934年）＝司法ファッショ、政党政治攻撃事件＝など歴史に名が残る事件を弁護。自由民権運動・普選運動にもかかわった。今村の弁護活動の基盤は、「大逆事件」を振り返る以下の発言に象徴される。

「勝つべきに勝ち、敗れるべきに敗れるのが正しい。敗れるべきに勝てば不正である。勝つべきに敗れるのは恥辱である」「在野法曹の任務は、一にも人権擁護であり、二にも人権擁護である。人権擁護を離れて弁護士の任務はありません」

今村は1866（慶応2）年、長野県下伊那郡飯田村（現飯田市）に生まれた。1884（明治17）年に上京。大審院（現在の最高裁）判事・伴正臣の書生となる。1886（明治19）年、専修学校（専修大学）法律科に入学、昼は書生、夜は学生という生活を送った。

1888（明治21）年、代言人試験に合格。同年9月には卒業生総代として専修学校を卒業した。

大学内に住んで

弁護士活動の傍ら、本学評議員、理事を務め、戦後の1946（昭和21）年、総長に就任した。

敗戦から立ち上がった専修大学では、学生と教員による学園復興運動が興り、大学刷新運動につながった。「学生管理委員会」が組織され、教員・職員を含む「大学再建準備委員会」に発展、小泉嘉章総長に対し、戦争責任と経営不適切を理由として辞任を求めた。

同委員会が新しく総長に求めたのが、すでに80歳を超え、隠遁生活を送っていた今村であった。

当時は旧制大学から新制大学に移る過渡期にあり、施設の拡充、人員の整備など総合的な経営努力が求められた。

ここで今村は、東京・杉並の広大な屋敷と土地（約1万平方㍍）のすべてを新制・専修大学に寄付。大学の一室に居を構え、本学再建の陣頭指揮にあたった。

1949（昭和24）年、日本電気から生田敷地を獲得。学部の拡張を図った。今村の要請により、東京大学から招へいして大河内一男経済学部長（のちに学長）、杉村章三郎法学部長を誕生させるなど教員組織の改革も進めた。

1954（昭和29）年、神田校舎の住居でその生涯を終えた。88歳。

権力を恐れず、時流に流されず、被告人・依頼人の人権のために弁護活動を行った今村は、最後の仕事として母校・専修大学の復興に情熱を傾けたのだった。

※大逆罪＝天皇制の下にあった大日本帝国憲法下、日本政府は、天皇や皇族に危害を加えたもの、加えようとしたものを大逆罪とし、極刑をもって臨んだ。

＜参考文献・専修大学今村法律研究室編『今村力三郎「法廷五十年」』＞

校友短信

小林伸一郎さん（昭55経済）が写真集「HACHINOHE CITY」（講談社・税込3000円）を刊行し、関連の写真展、ツアーを開催する。

【写真展】▽日時＝10月25日（日）まで（月・火と10／18は休館）11時～19時▽場所＝東京・護国寺「講談社K－スクエア高層棟」1F㈱☎03（5395）4628

【ロケ地探訪ツアー&ワークショップ】▽日時＝11月8日（日）10時～16時▽参加費＝2000円㈱八戸観光コンベンション協会☎0178（41）1661

テレビ界で活躍する2人の卒業生

▽山田順子さん（昭51文＝7面参照）が時代考証担当のTBS日曜劇場「JIN－仁－」が10月11日から放映されている。

▽渡邉睦月さん（平9院文修）脚本のNHK土曜ドラマ「チャレンジド」（全5回）が10月10日から放映されている。

松本勝範さんが全日本剣道に出場

剣道部OBの松本勝範さん（平17法＝神奈川県警）が11月3日（火）日本武道館で行われる第57回全日本剣道選手権大会に神奈川県代表で出場する。

校友会からのお知らせ

「ホームカミングデー2009」を10月31日（土）、生田キャンパスで開催します。詳細はホームページで。

〈新潟県支部総会〉
▽10月31日（土）17時30分開会▽新潟市中央区弁天「新潟東急イン」㈱吉野直樹氏☎090（2308）2810

〈高知県支部総会〉
▽10月31日（土）18時30分開会▽高知市はりまや町「得月楼」㈱戸梶邦彦氏☎090（1007）5071

〈29会総会〉
▽11月7日（土）13時開会▽台東区上野公園「上野精養軒」㈱丸山貞雄氏☎048（471）3679

〈宮崎県支部総会〉
▽11月8日（日）17時開会▽宮崎駅東「ウェルシティ宮崎」㈱佐藤俊三氏☎0985（24）4323

〈大田支部総会〉
▽11月8日（日）17時開会▽大田区蒲田「中華レストラン・青樺楼」㈱深谷城保氏☎090（3237）7307

〈仙台支部総会〉
▽11月13日（金）18時30分開会▽仙台市青葉区「パレスへいあん」㈱長嶋匠二氏☎022（279）9500

〈筑豊支部総会〉
▽11月14日（土）18時30分開会▽福岡県飯塚市「のがみプレジデントホテル」㈱青柳陽一氏☎0948（28）5825

〈静岡県支部連合総会〉
▽11月14日（土）15時開会▽静岡市「クーポール会館」㈱古川衛氏☎054（252）2228

〈町田支部総会〉
▽11月14日（土）18時開会▽町田市森野「町田市民ホール」㈱松田征士氏☎080（1019）2805

アドニス49号刊行

校友会誌「アドニス49号」が10月15日に発行。主な内容は、特集・仕事基礎力の第3回「ライティング力」、「われら専修人」でシャボン玉石けん㈱代表取締役社長の森田隼人さん、IPホテル福岡常務取締役総支配人の金顕泰さんの紹介など。

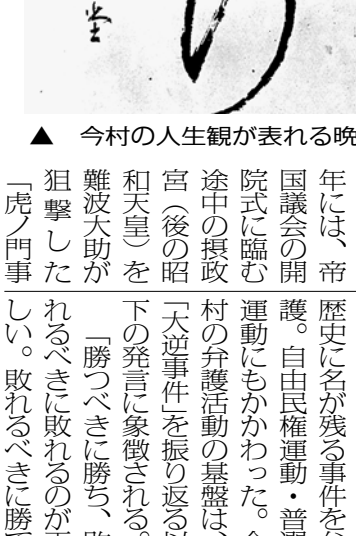
◆校友会に関するお問い合わせは☎03（3265）7579事務局まで。

訃報

吉岡　健次氏（よしおか・けんじ）元経済学部教授

9月13日、91歳で死去。1982年から6年間在職。担当は財政学。

専大校友を訪ねて



専修大学会計人会の会長に就任・税理士
吉田　伸江（のぶえ）さん
（昭54院商修）

「計理の専修」として名を馳せてきた本学には、校友会に「会計人会」がある。女性として初の会長。当面の目標は、大学の教員の協力を仰いで、会計人として活躍する卒業生の情報を集め、若い世代の加入で会を活性化していきたいと語る。

高校生のころからキャリアプランを描いていた。「長く続けられる仕事をしたい。資格を取得できる学部に」と商学部会計学科に入学。授業料免除の特待生となった。大卒女子の就職が厳しかった時代。ゼミ指導の小澤康人教授の勧めで大学院に進む。齊藤明教授に師事し、「税理士」を一生の仕事にしていこうと決意した。

―結果残す「吉田流」　顧客増やす―

大学院修了後5年ほど在籍した公認会計士・税理士事務所では、「データを鵜呑みにせず、問題意識をもって資料にあたることの大切さ」を徹底してたたきこまれた。終電間際まで業務に没頭するなかで力をつけ、経営セミナーの講師なども任せられるようになる。「さまざまな人と出会えることは刺激的でしたが、現場から離れることへの不安を感じ、独立を決意しました」。

東京税理士会板橋支部の副支部長も務めている。区内には中小企業が多い。「単なる税務処理ではなく、会社を良くしていくために一緒に頑張りましょうとポリシーを伝え、納得していただける方とパートナーシップを結ぶようにしています」。厳しいが、結果を残す吉田流の仕事ぶりが評判を呼び、顧客を増やしてきた。

納税者がもっている権利を擁護するため、行政との間に立って、信頼にこたえる仕事をしている充実感が醍醐味だという。「コミュニケーション力が大切。自分らしく長く働きたいと考えている女子学生にぜひチャレンジしてほしいですね」とエールを送る。

事務所の本棚には整然と並んだ教科書が。「私の原点です」と学生時代を懐かしむように見つめた。

障がいのある学生の就活支援
30,000名の実績
いままでに延べ30,000名の就職活動を支援。
積極就活は
ウェブ・サーナ
WebSana でスタート!
18年の信頼
障がいのある学生の就職支援のパイオニア。
登録無料
まずは サーナ2011 検索 を!
※登録画面のサ～ナKEY欄に「sana2011」と入力してください。
体験談 先輩たちの就職活動体験がわかる
メッセージ 採用担当者からのメッセージが届く
特典 1000円分のQUOカード等をプレゼント
2009年11月までに登録しよう!!
IF Research Institute イフ総合研究所